



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2391		
科目名	法学特殊講義 1（労働法）		
担当教員	芦原 一郎		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1207	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシー（D P）との関連 D P 1－E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論値と実践値を獲得し利用することができる。 D P 8－M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学習成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（25%） G 1 状況把握（25%） I 1 理解・分析と読解（25%） H 1 論理的思考（25%）		
教員の実務経験	弁護士登録後4年半、法律事務所で労働法案件を専門分野の1つとして、実際の訴訟案件などを多数経験しました。その後約20年、米日欧の各金融機関の日本における社内弁護士等として、会社内部から人事部の活動を支援し、自ら法務部長などとして部門管理を行い、自ら経営メンバーとして会社経営に関与してきました。社内弁護士から再度、社外の弁護士となった後も、労働問題や経営問題に関する専門家として活動し、複数の金融機関で社外役員として経営に関与しているほか、東京弁護士会の労働法委員会の副委員長（2016～現在）や5名しかいない（しかも弁護士はそのうちの1名しかいない）司法試験委員（労働法、2020～現在）にも選任されました。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	経営者が有する会社経営のツールは「人」「金」であり、労働法は「人」に関わります。しかし「人」を使うと、①当然のことながらトラブルが発生しますし、②「人」を使うために様々な仕組みを作る必要があります。労働法は、①トラブルや②仕組みに関する基本的なルールを定めるものです。本科目では、主に会社経営の視点から、労働法に関するリスクを見極め、そのリスクをコントロールする（リスクを避ける場合と、チャレンジする場合があるでしょう）ために基礎となる力を付け（労働法の基本を学びます）、労働法のリスクと会社経営の関りを学び、実際にどのように対応すべきなのかを考えます。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を保管・代替するためにオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 労働法・リスクマネジメント		
授業の趣旨	■ 副題 労働法のリスクを適切にコントロールし、機能的な経営組織を構築することが、経営にとって重要な課題です。経営の観点から労働法のリスクを学びましょう。		

	■ 授業の目的 労働法のリスクの観点から、どのようなトラブルが生じるのか、その背景や経営上の課題は何か、など、具体的な事例の中からリスクを分析し、リスクをコントロールする能力を身に付けることが目的です。 ■ 授業のポイント 毎回、実際の労働判例を素材に勉強します。労働判例の背景にある労働法の基本を学ぶとともに、そのトラブルの背景にある会社経営上の問題を分析し、経営上の労働法のリスクを学びます。労働法を、単に知識として学ぶだけでなく、リスクマネジメントや経営のツールとして使いこなせるようになっていただきたいので、受講者は、自分であればどう考えるだろうか、どう行動するだろうか、という意識をもって授業に参加してください。 ※ 授業内容は、新しいテキストの出版が間に合えば、内容を変更します。授業の趣旨などは、変更しません。										
総合到達目標	・実際にどのような労働法上のトラブルが生じるのか、具体的に説明できるようになる。 ・各トラブルに関わる労働法上の重要なルールを、すぐに検索できるようになる。 ・労働法上のリスクの背景と対応について、分析し、リスクコントロールの方法を構築できるようになる。										
成績評価方法	■ 期末テスト（事案分析力等の確認）：適用ループリックE1、G1、H1、I1 ■ 授業への積極的な関与（特に貢献度の高い場合に、追加点として考慮）：適用ループリックE1、G1、H1、I1 2022年度は、授業出席1回につき2点（合計30点）、期末試験（択一式35問）1問正解につき2点（合計70点）の合計100点満点で評価しました。2023年も同じ方法にする予定です。										
履修条件	労働判例を毎回読み込む意欲・実行力と、学ぶだけでなく自ら積極的に発信する意欲のある者。										
履修上の注意点	労働判例を読み込む際、事件の関係者がなぜこのような行動をとったのだろうか、という興味を持ち、情景を想像しながら読むこと。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 労働法の基本、コーポレートガバナンスと内部統制、経営組織論の基本 労働判例の読み方、三段論法 ②授業概要 労働判例をツールとして使いこなす前提となる基本中の基本を把握する（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（0分） ④復習（60分） </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 解雇 その1 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 解雇 その2 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 更新拒絶 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 労働法の基本、コーポレートガバナンスと内部統制、経営組織論の基本 労働判例の読み方、三段論法 ②授業概要 労働判例をツールとして使いこなす前提となる基本中の基本を把握する（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（0分） ④復習（60分）	2	①授業テーマ 解雇 その1 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。	3	①授業テーマ 解雇 その2 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。	4	①授業テーマ 更新拒絶 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。
回	内容										
1	①授業テーマ 労働法の基本、コーポレートガバナンスと内部統制、経営組織論の基本 労働判例の読み方、三段論法 ②授業概要 労働判例をツールとして使いこなす前提となる基本中の基本を把握する（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（0分） ④復習（60分）										
2	①授業テーマ 解雇 その1 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。										
3	①授業テーマ 解雇 その2 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。										
4	①授業テーマ 更新拒絶 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。										

	③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
5	①授業テーマ 人事権の濫用 その1 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
6	①授業テーマ 人事権の濫用 その2 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
7	①授業テーマ リストラ その1 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
8	①授業テーマ リストラ その2 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
9	①授業テーマ 労働者性 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
10	①授業テーマ パワハラ ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。

		④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
	11	①授業テーマ メンタル その1 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
	12	①授業テーマ メンタル その2 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
	13	①授業テーマ 内部通報 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
	14	①授業テーマ 同一労働同一賃金、高齢者雇用 ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
	15	I.試験（60分） II.最終講義（30分） ①授業テーマ 最近の問題（SOGIハラなど） ②授業概要 所定の労働判例から、労働法の基本を学ぶとともに、この事例を経営上のツールとして使いこなすために読み込む（E1、G1、H1、I1）。 ③予習（120分） 教材となる裁判例を読み込み、労働法上の問題と経営上の問題を見つける。 ④復習（60分） 法律上の問題を教科書で確認し、経営上の問題を自分が経営者となった場合にどのように対応するのか考えて、考えをまとめる。
関連科目		リスクマネジメント論（RMGT1303）、企業組織と法（RMGT2352）、企業統治と法（RMGT2353）、憲法と人権（RMGT1311）
教科書		■ 芦原一郎『労働判例から経営を学ぶ』（経営書院、2023年） ※ 新しいテキストが間に合えば、変更します。

参考書・参考URL	■ 芦原一郎『労働判例読本2022年版』『同2023年版』（産労総研、2022・2023） ■ 鈴木竜太『経営組織論』（東洋経済、2018）
連絡先・オフィスアワー	
研究比率	■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント：25%、パブリック・セキュリティ：25%、グローバル・セキュリティ：25%、情報セキュリティ：25% ■ 危機管理と法学とのバランス 危機管理：50%、法学50%

